

輝け和泉こはく学園
和泉市立国府小学校『夢に向かって輝き合える子』
『すべてに愛を分かちつゝ』

国府だより

令和3年5月6日

5月号

教育目標：いつも笑顔，光り輝く子どもの育成

めざす児童像：主体的に考え判断し行動できる子《よくきく子・よくみる子・やさしい子・げんきな子》

今、求められる「生きる力」について

校長 石村 和彦

4月に国府小学校に赴任して一か月がすぎました。ここで、少し私自身の自己紹介をさせていただきますと、実家が肥子町にあって、小学生の頃は国府小学校に通っていました。還暦が近くなり、また母校に戻ってきたということになります。来年は150周年を迎えますが、100周年の時は私は小学2年生でした。

一号館と二号館の校舎は私が小学校時代に使っていたままで、校内を巡回していますとふと時間の流れの中で迷子になってしまったような、不思議な気持ちにおそわれることがあります。私自身の思い出も愛着もある母校で仕事をさせていただくこのご縁を、とても大切にしたいと願っています。

さて、とりわけ私のような昭和の時代から教壇に立っていた者にとっては、最近の時代の変化の速さには驚かされてしまいます。しかし、これから先もAIがさらに台頭し、予測不可能な未来が来るといわれています。

このように世の中が変わりますと、当然求められる「生きる力」も変わってきます。今、求められる生きる力を一言で表現すると、「AIと共存できる力」となるそうです。いくら技能を高めて仕事に就いても、それがAIも得意なものなら、AIにその仕事を奪われてしまうと言われていています。逆にAIが苦手なものを得意にすると有利です。AIが苦手なもの、その一つが「読解力」

とされています。

「川べりの細い道をたどると、柿の木がありました。」

というのは、昔私が担任していた児童が書いた日記の書き出しです。とてもいい文章だなと感心したのですが、もう一つ、あることに気づきました。当時、私はクラスで名文の暗唱をさせていました。川端康成の名文といわれる「雪国」の一部も暗唱させていましたが、その冒頭とこの作文の文章を分節に区切ってみると、ほとんど同じになります。

「川べりの/細い/道を/たどると/柿の木が/ありました。」

「国境の/長い/トンネルを/超えると/雪国で/あった。」

同じ文章を何度も読んだり、暗唱したりすることは、単にことばの数を増やすだけではなく、「使える文のかたち」も豊かにするものだと思います。それが豊かになるということは、思考力や表現力そのものも向上するという事です。

未来をになう子供たちの生きる力をはぐくむため、私たちは何をしていくべきか。そのことをよく考えて、教育に取り組んでまいりたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様と連携しながら、子どもたちの教育をよりよいものにしたいと考えています。よろしく願いいたします。

国府小学校 5月学校行事

(SC スクールカウンセラー来校日)

日	曜		下校時刻
1	土		
2	日		
3	月	憲法記念日	
4	火	みどりの日	
5	水	子どもの日	
6	木	家庭訪問④ ※場所確認のみ(短縮4時間) 心臓検診(AM1年生・他学年抽出) 視力6年生	全学年 13:10下校
7	金	避難訓練(不審者)尿検査2次(対象者のみ) 家庭訪問⑤ ※場所確認のみ(短縮4時間)	全学年 13:10下校
8	土		
9	日		
10	月	児童集会(放送)集中下校	通常
11	火	眼科検診(AM1年生・希望者)	通常
12	水	尿検査予備 内科検診13:30~(3年生)	通常
13	木	春の遠足(6月に延期)	通常
14	金	内科検診13:30~(2・5年生)	通常
15	土		
16	日		
17	月	石拾い週間(～21日まで) SC	通常
18	火	委員会②	通常
19	水	夜回り 内科検診 13:30~(1年生)	通常
20	木	歯科検診8:50~(2・4年、6-1)	通常
21	金	内科検診 13:30~(4・6年生)	通常
22	土		
23	日		
24	月		通常
25	火		通常
26	水	体育参観(秋以降に延期)	通常
27	木	全国学力・学習状況調査(6年生) 小学生すくすくテスト 5・6年生	通常
28	金		通常
29	土		
30	日		
31	月		通常
通常	月	全学年…14時40分下校	
	火	1～3年生…14時40分ごろ	4～6年…15時35分ごろ
	水	全学年…14時40分下校	
	木	1・2年生…14時40分ごろ	3～6年…15時35分ごろ
	金	1・2年生…14時40分ごろ	3～6年…15時35分ごろ